

# 中国共産党、「労働者」と訣別する前衛

## —習近平時代の党員リクルートと党員集団—

鈴木隆

(愛知県立大学外国語学部中国学科准教授)

### 【要約】

本稿の目的は、政党組織論の視点から、習近平時代における中国共産党の党員リクルートの動向と、これによる党員集団の職業構成の変化を検討することにある。

2012年に習近平が党総書記に就任して以来、胡錦濤時代に比べて、入党抑制の姿勢が顕著である。この結果、在籍党員も、総人口に対する党員比率は高まったが、党員数の増加スピードには、急ブレーキがかけられた。

今日では、在籍党員の中で、「党政機関工作人員」と「企業事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」の就労者の合計が、「労働者」と「農牧漁民」のグループを上回っている。最多の職業集団も、結党百周年の2021年には、「企業事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」が、「農牧漁民」に取って代わる可能性が高い。

それゆえ、階級政党の本義からみて、現存する中国共産党(The Communist Party of China)を、〈中国における共産党〉(Communist Party in China)と同定するのは、もはや困難である。党の組織構築の面で、習近平は、〈中国における共産党〉を名存実

亡の状態へと積極的に追いやることによって、21世紀における「中華民族の偉大な復興」を追求している。

キーワード：中国共産党、党員集団、党員数、職業構成

## 一 はじめに

2021年7月、中国共産党は、党創立百周年を迎える。1921年の創設時、全国でわずか50数名であった党員数は、2019年末時点で約9191万4000人（総人口に占める割合6.57%）の多きに達している<sup>1</sup>。これは、2019年の国別ランキングで、世界第15位のベトナムに次ぐ規模であり、ドイツ（17位）、トルコ（18位）、イラン（19位）、タイ（20位）など、世界の各地域の主要国の人口よりも多い<sup>2</sup>。むろん世界最大の政党である。

本稿の目的は、この中国共産党を対象として、政党組織論の視点から、習近平時代における共産党の党員リクルートの動向と、これによる党員集団の職業構成の変化を検討することにある。その際、筆者が2018年に公刊した研究論文で扱ったいくつかの論点について、その後の継続調査を行い、さらなる議論の発展を試みる<sup>3</sup>。

まず、習近平時代の党員リクルート政策を概観しつつ、問題の所在を確認しておこう。2012年11月の中国共産党第18回全国代表大会（以下、18回党大会の形式で略記）を経て、党総書記に就任した習近平は、早くも2013年1月には、従来への入党活動を見直し、「16字の総合要求」（控制総量、優化結構、提高質量、發揮作用）と呼ばれる、新たな方針を提起した。その要点は、①党員の

---

<sup>1</sup> 本論文の内容に関し、貴重な時間を費やして建設的な批判や助言を行い、筆者の考察をさらに深める機会を提供してくれた2名の匿名査読者に対し、心より感謝の意を表す。黨建平「嚴密黨的組織體系 更好發揮黨的組織優勢」『人民日報』（北京）2021年7月1日、第7版。

<sup>2</sup> 矢野恒太記念会編『世界国勢図絵 2019/20年版』（矢野恒太記念会、2019年）、36～41ページ。

<sup>3</sup> 鈴木隆「習近平時代における中国共産党の党員リクルート政策：労働者の疎外と労農同盟喪失の組織実態」『国際問題』第673号（2018年7月）、15～28ページ。

政治的資質の向上を目的とした新規入党者の量的制限、②入党対象の優先集団として労働者・農民・知識人の重視である。

習近平が黨員リクルートの刷新を決めた背景には、汚職腐敗が蔓延する黨員幹部集団への国民の反発、及び、それに起因する政権の不安定化に対する危機意識があった。習近平は、従来入党活動の問題点を、政治集団としての質を犠牲にした量の過大な追求と捉え、党内秩序の再構築の観点から、質の重視・量の抑制を主眼とする入党活動を要求した<sup>4</sup>。

指導部はまた、上述のとおり、黨員リクルートにおいて、労働者・農民・知識人のグループを重視すべきことを強調した。これら 3 つの職種は、1921 年の結党以来、長きにわたって黨員集団の主力に位置づけられてきた。

例えば、中国政治の公式文書として最も権威が高いものの 1 つとされる、党大会採択の「政治報告」について、その叙述が定型化された 1990 年代以降では、第 14 回（1992 年）、第 16 回（2002 年）、第 18 回（2012 年）の各大会の政治報告の中に、それぞれ、次のような一文がある。「生産の第一線の労働者・農民・知識人の中の優秀分子を、党内に吸収することに十分に留意する」、「労働者・農民・知識人・軍人・幹部への黨員リクルート工作を立派に行う」、「黨員リクルートの質を高め、青年層の労働者・農民・知識人への黨員リクルートを重視する」<sup>5</sup>。こうした言葉の裏側には、理想的な

---

<sup>4</sup> 習近平「在全国組織工作會議上的講話（2013 年 6 月 28 日）」中共中央文獻研究室編『十八大以來重要文獻選編（上）』（北京：中共中央文獻出版社、2014 年）、頁 351。

<sup>5</sup> 本書編寫組編『十一屆三中全會以來歷次黨代會、中央全會報告 公報 決議 決定』（北京：中國方正出版社、2008 年）、頁 459、頁 765；胡錦濤「堅定不移沿着中國特色社會主義道路前進 為全面建成小康社會而奮鬥：在中國共產黨第十八

党員集団の職業構成と政治的資質の少なからぬ部分が、マルクス主義の階級政党の本質的属性、すなわち、主力集団としての労農同盟の組織実態によって担われるべきとする、共産党人らしい正統主義的な認識がみてとれる。

一方、中国共産党の組織構築に関する先行研究の多くは、次の2点を強調してきた。第一に、毛沢東時代には、労働者と農民、とくに後者を主体とする「農民党」であった該党が、改革開放以降、両職種の党員割合を減らし、代わりに、党や政府の官僚、管理職・技術職の者など、近代化政策に必要な専門人材を増やしていること。第二に、2000年代初めには、当時の江沢民総書記が提起した「3つの代表」論に基づき、階級敵であるはずの私営企業家の入党さえ容認し、これにより、「資本家であれ誰であれ、基本的に社会の全ての構成員が党員になれる……みんなの党」（宮本雄二）になった、階級政党としての性格を脱して「国民政党に転生した」（毛里和子）、ことである<sup>6</sup>。だがこれらの研究は、政策目的の解説と関連数値のわずかな紹介のレベルにとどまっていた。

こうした通説的理解に対し、筆者は、前出の既発表論文を含むいくつかの文章において、胡錦濤・習近平の両時期の入党活動の実態について、共産党の公式統計に拠りながら、実証分析を試みた。こ

---

次全国代表大会上の報告（2012年11月8日）」中共中央文獻研究室編『十八大以來重要文獻選編（上）』、頁42。

<sup>6</sup> 宮本雄二『習近平の中国』（新潮社、2015年）、138ページ；毛里和子『現代中国政治 [第三版]：グローバルパワーの肖像』（名古屋大学出版会、2012年）、170～172ページ。習近平時代の入党活動を論じた研究のうち、注3に掲げた拙稿や本文中で言及したもの以外に、代表的な論考として以下のものがある。劉學申「從重數量到重質量：中國共產黨建黨規模理念的調適」『湖湘論壇』（長沙）2016年第2期（2016年4月）；胡小君「中國共產黨黨員規模問題：“膨脹”與“虛化”」『江漢論壇』（武漢）2014年第1期（2014年1月）。

の結果、習近平の総書記任期のうち、第一期政権（2012～2017年）では、①それまで増加の一途にあった新規入党者が激減した、②在籍党員の職業構成におけるブルーカラー減少／ホワイトカラー増加の傾向に変化はない、③私営企業家を含む「新社会階層」と呼ばれる新興の社会経済エリートの新規入党者数は、胡錦濤期以来、安定的に推移しており、それゆえ、多様な階級・階層・社会集団を包摂した国民党政党、「みんなの党」というよりは、政治、経済、社会、文化の各分野のエリートを糾合した党として再編されつつある、ことを明らかにした<sup>7</sup>。

ただし、これらの論考では、研究発表の時期的都合により、習近平政権の二期目（2017～2021年6月現在）の政策展開は扱っていない。加えて、上記③の新社会階層の入党動向は、2017年の実績を最後に、数字が非公開となった。こうした既知の事柄と資料的限界を踏まえつつ、①と②の論点を中心に、中国共産党の党員リクルートと党員集団の職業構成について、約十年に及ぶ習近平時代の全体像を明らかにすること、これが本稿の課題である。

議論の流れは、次のとおりである。第二節ではまず、中国側統計の不備の中身と、それに基づく本論文の方法的特徴を確認する。次いで第三節では、胡錦濤時代との比較を念頭に置きながら、習近平時代の党勢発展を検討する。最後に、これらの議論を手がかりとして、今日の中国社会における共産党組織のイデオロギー的立ち位置、及び、トップである習近平の指導者像について、若干の考察を行う。

---

<sup>7</sup> 鈴木隆『中国共産党の支配と権力：党と新興の社会経済エリート』（慶應義塾大学出版会、2012年）、第3章；鈴木隆、前掲「習近平時代における中国共産党の党員リクルート政策」。

## 二 党員統計の特徴と分析の方法的限界、議論の前提

### 1 分類項目の変更<sup>8</sup>

中国政治研究における資料的制約の大きさは、毎年 of 党勢発展の動向さえ、例外ではない。入手可能な統計資料が限られているうえ、数値の部分的欠如や、統計自体が発表されない年もあるなど、中身の散漫さも研究者泣かせである。

残念ながら、本文以下の表も、そうした不備疎漏を免れていない。なかでも最大の難点は、党員数の公式統計における分類項目の頻繁な変更である。具体的には、党員の職業構成について、2012年まで存在した①「企事業単位管理人員、専門技術人員」の項目が、2013年の発表からなくなり、②「企業管理人員」、③「企業専門技術人員」、④「事業単位・民弁非企業単位管理人員、同専門技術人員」の名称が登場した。その後、2014～2017年までは、これら3つに代わって、⑤「企事業単位・民弁非企業単位管理人員」、⑥「企事業単位・民弁非企業単位専門技術人員」の2つが用いられた。さらに、2018年以降はそれぞれ、⑦「企事業単位・社会組織管理人員」、⑧「企事業単位・社会組織専門技術人員」に変更された。

この変更理由や各項目に含まれる職業集団、人数の算定方法の異同などは、一切不明である。ただし、一部の資料と実際の分析結果からみて、確度の高い理解の仕方は、①の「企事業単位管理人員、専門技術人員」の範疇に一括して計上していた人々を、2013年以降は、所属先（企業と事業単位、民弁非企業単位、社会組織）と職位（管理人員、専門技術人員）に応じて、細分化して記載するよう

---

<sup>8</sup> 本項の記述は、鈴木隆、同上論文の関連部分を加筆修正した。

になったというものである。

この傍証として、2013年に発表された全国の党員統計では、分類項目の説明として、「企事業単位（含民弁非企業単位）管理人員、專業技術人員」（傍点引用者、以下の傍点同じ）の記述がある。同じく、2015年の新疆ウイグル自治区の統計では、「企事業単位（含民弁非企業単位）管理人員党員」と「企事業単位（含民弁非企業単位）專業技術人員」の区分がみられる。これらは、「企事業単位」で就労する党員数の中に、「民弁非企業単位」のそれも含まれていたことを示す<sup>9</sup>。なお、民弁非企業単位とは、企業一般を指す「企業単位」や、国が運営する「事業単位」とは異なり、民間資本で、公益性の高い各種社会サービスを提供する団体（例えば、私立の病院や学校、民営の介護施設など）をいう<sup>10</sup>。

また、遼寧省省都の大連市が、2019年に公表した党員統計では、当該グループの名称を、「企事業単位・民弁非企業単位・社会組織專業技術人員」と「企事業単位・民弁非企業単位・社会組織管理人員」と記している<sup>11</sup>。内モンゴル自治区党委員会組織部が、2019年と2020年に発表した資料では、単に「企事業単位及社会組織管理人員」となっている<sup>12</sup>。一方、2018年のチベット自治区の統

---

<sup>9</sup> 周英峰「截至2012年底：中共黨員共有8512.7萬名 基層黨組織420.1萬個」『人民網』2013年7月1日、<http://politics.people.com.cn/n/2013/0701/c1001-22024024.html>（2021年4月28日確認、以下のホームページの確認日も全て同じ）；「新疆黨內統計公報發布 全區共有145.64萬名」『中國新疆』2015年7月1日、[http://www.chinaxinjiang.cn/zixun/xjxw/201507/t20150701\\_495092.htm](http://www.chinaxinjiang.cn/zixun/xjxw/201507/t20150701_495092.htm)。

<sup>10</sup> 「事業単位」については、注15も参照のこと。

<sup>11</sup> 許曉楠「全市黨員50.63萬名 基層黨組織2.68萬個」『大連新聞網』2019年7月1日、[http://www.dlxww.com/news/content/2019-07/01/content\\_2306875.htm](http://www.dlxww.com/news/content/2019-07/01/content_2306875.htm)。

<sup>12</sup> 內蒙古自治區黨委組織部「2018年全區黨內統計公報」『內蒙古日報（漢）』（呼和浩特）2019年7月1日、第4版；同「2019年全區黨內統計公報」『內蒙古日報（漢）』（呼和浩特）2020年7月2日、第1版。



計では、同じ年から全国統計では消滅したはずの⑤と⑥が、依然用いられている<sup>13</sup>。

以上を総合すると、ホワイトカラー党員の職種に関しては、当初の「管理人員、専門技術人員」の表記から、管理職（管理人員）と専門職（専門技術人員）が区別された。所属先についても、元来は「企事業単位」しかなかったものが、まず「民弁非企業単位」が分離され、次にそれが「社会組織」の名称に代わったが、地方によっては、以前と同じく、企事業単位・民弁非企業単位・社会組織をひとまとまりの存在とみなし、意図的な混同、または互換可能なものとして使用している。

これらの事情を踏まえつつ、以下の叙述と表では、胡錦濤時代と習近平時代の通時的比較を可能にするため、2012年以前は①を単独で、2013年は②③④を、2014～2017年は⑤⑥を、2018年以降は⑦⑧をそれぞれ合算した数字を、「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」の名称で、統一的に記すこととする。

## 2 分類項目の内容の不明

党員統計における2つめの大きな問題点は、職業分類のうち、一次産業に従事する「農牧漁民」を除き、「労働者」「企事業単位・社会組織管理人員」「企事業単位・社会組織専門技術人員」などの分類に含まれる具体的な職業や職階が不明瞭なことである。付言すれば、それらとは別に、「離職・退職人員」、つまり、定職に就いていない者のカテゴリもある。

---

<sup>13</sup> 中共西蔵自治區委員會組織部「2017年中國共産黨西蔵自治區黨内統計公報」『中國共産黨新聞網』2018年7月3日、<http://cpc.people.com.cn/n1/2018/0703/c64387-30113160.html>。

表 1 には、2013 年 2 月に中国共産党の中央弁公庁が発出した、習近平時代の入党活動の指針を定めた文書の要点をまとめた<sup>14</sup>。ここでは、「青年層の労働者・農民・知識人への党員リクルート」への注力を確認したのち（表 1：②）、各職業集団の重点対象者を、次のように指示している。

表 1 から分かるように、そこでいう「労働者」のグループには、管理職や技術職の者、さらには、企業経営者まで含まれている。同じく「農民」の中には、「村組織の幹部」や「工商業従事者」など、農業に直接に従事していない人々もいる（表 1：②・1）、②・2）。これに関し党員統計の場合、管理職と技術職は、「労働者」とは別の分類項目である「企事業単位・社会組織管理人員」と「企事業単位・社会組織専門技術人員」に計上されると思われる。

要するに、表 1 の政策文書と通常の党員統計では、それぞれの「労働者」が指示する職種や職階の範囲が異なっている。党員統計の「労働者」の方がより限定的な範囲で、農村からの出稼ぎ労働者、製造業などのブルーカラー就業者、その他店員・販売員などの一般労働者を指すとみられるが、管見の限り、これを包括的に説明した資料は見当たらない<sup>15</sup>。しかし、党員統計における「労働者」

---

<sup>14</sup> 「關於加強新形勢下發展黨員和黨員管理工作的意見（中辦發〔2013〕4號）」『荊州黨建網』2013年11月14日、<http://www.jzdw.gov.cn/article/zhengcwenjian/13877.html>。

<sup>15</sup> 胡錦濤時代の最終年の 2012 年まで、党員統計の「労働者」表記は、中国語で単に「工人」であった。習近平時代に入り、2014 年に発表された資料では、在籍党員と入党実績の説明部分で、それぞれ、「工人（含工勤技能人員、營業員、服務員等）」、「工人〇〇名（其中農民工××名）」（〇×は具体的な数字）と記載されている。その後、2016～2019 年までは、前者は「工人（工勤技能人員）」、後者は「工人（工勤技能人員）〇〇名（其中農民工××名）」の表記が続いた。2020 年以降、後者の「農民工」の内訳が消え、「工人（工勤技能人員）」で統一されている（中共中央組織部「2015 年中國共產黨黨内統計公報」『人民日報』

表1 中国共産党中央弁公庁「新たな情勢下における党員リクルートと党員管理の活動を強化することに関する意見」（2013年2月）の主な内容

<p>①新規入党の量的制限</p> <p>1) 「党員リクルートの総量規制〔中国語原文は総量調控〕を実行する」</p> <p>2) 「今後10年間、全国の党員総数は、年平均1.5%程度の純増とする。……<u>県級以上の党委員会（工作委員会）は、党員リクルートの総量規制の目標任務を着実に履行するため、毎年の入党者数または増加割合を定めるやり方を用いてもよい</u>」</p> <p>②「<u>青年層の労働者・農民・知識人への党員リクルートを重視し、党員集団の最適化を図る</u>」</p> <p>1) 「労働者」の重点対象</p> <p>a. 国有企業 「<u>生産現場の第一線の班長・組長、業務活動の中心的人物、優れた技術者、とくにそれらの中の優秀な青年労働者</u>」</p> <p>b. 非公有制企業 「<u>生産現場の第一線の職員・労働者、専門技術職の中心的人物と経営管理人員</u>」、及び、「<u>出資者〔私営企業家を指す]</u>」</p> <p>2) 「農民」の重点対象 <u>村組織の幹部、農村に戻ってきた卒業学生、退役軍人、工商業従事者、</u> <u>「農民專業合作組織の成員」、「農村專業技術協會の會員」</u>など</p> <p>3) 「知識人」の重点対象</p> <p>a. 科学研究所、教育文化・衛生機関、社会組織などの「<u>知識人が比較的多く集まる組織</u>」に所属する人物、とくに「<u>科学研究所の中核の人員、学界の指導的立場の人、留学・帰国人員の優秀な人物</u>」</p> <p>b. その他、高等教育機関の青年教員、大学院生など</p>
---

(注) [ ] 内は筆者の補注。傍線も筆者が付したもの。

(出典) 「關於加強新形勢下發展黨員和黨員管理工作的意見（中辦發〔2013〕4號）」『荊州黨建網』2013年11月14日、<http://www.jzdw.gov.cn/article/zhengcewenjian/13877.html> (2021年5月14日確認)。

〔北京〕2016年7月1日、第8版；同「2018年中國共產黨黨內統計公報」『人民日報』〔北京〕2019年7月1日、第4版；同「2019年中國共產黨黨內統計公報」『人民日報』〔北京〕2020年7月1日、第7版；同「2013年中國共產黨黨內統

が、ほかならぬ共産党が「労働者」と認定した人々であること、同時に、後述のとおり、彼らに対し自党の組織的門戸を閉ざしていることは、十分に銘記されるべきであろう。

### 3 党の組織建設における数値目標

また、共産党の公表数値の分析に際しては、各地の党組織が、毎年の入党者数とその一定期間内の増減、党員の職業構成割合などを定めた入党計画に基づいて、すなわち、一定の目的合理性のもとに党員リクルートを行っていることを前提とする。事実、党中央は、県レベル以上の党委員会に対し、新規入党者の数とその年齢層、性別、職業、学歴などの比率について指標数値を盛り込んだ、入党活動の中長期計画と年度計画の策定を義務づけている<sup>16</sup>。

前出の党中央弁公庁の通達によれば、習近平指導部は、2013～2022年の10年間、在籍党員数の「年平均の純増」、すなわち、年平均成長率（compound average growth rate）を「+1.5%前後」とし、かつ、2022年末時点での在籍党員数を約9600万人に抑えることを指示した<sup>17</sup>（表1：①・2）。この1.5%と9600万人の数

---

計公報』『共産黨員網』2014年6月30日、<http://news.12371.cn/2014/06/30/ARTI1404097880744683.shtml>）。また、ここでいう「工勤技能人員」の名称は、2006年11月に国务院の人事部（当時）が頒布した「事業単位崗位設置管理施行弁法」に基づくと思われる。行政法規である同弁法は、「事業単位」（例えば、国立の大学・病院・研究機関など、公的財政支出に経営を依存し、公益事業に従事する団体）の被用者を、「管理人員」「專業技術人員」「工勤技能人員」の三種類に分類し、各ポストの等級や任用の仕組みを定めている。それぞれ、「指導的職責または管理任務」、「専門的な技術業務」、「技能的な操作と保全整備、〔総務部門などの〕後方勤務、サービスなど」を担当する者と定義される（李建「《事業単位崗位設置管理施行辦法》關鍵詞解讀」『北京人才市場報』（北京）2006年11月22日、第4版）。

<sup>16</sup> 前掲「關於加強新形势下發展黨員和黨員管理工作的意見（中辦發〔2013〕4號）」。

<sup>17</sup> 同上；「全國發展黨員和黨員管理工作座談會精神傳達提綱」『荊州黨建網』2013

字は、全国の党員幹部向けのインターネット学習教材の中でも、党中央組織部の高級幹部が言及している<sup>18</sup>。だが、2022年末に9600万人に達するとの想定で計算した場合、年平均成長率は約1.2%である。すなわち、中央組織部は、1.5%の名目数値よりも、実際には、いっそう厳しい入党抑制を求めているのである。

また、民間とは区別して実施される軍内の入党活動でも、階級や職務などに応じて、詳細な指標数値が設定されている模様である。いわく、「軍は、『党員リクルートの総量規制を実行する』という中央の精神を貫徹し、軍隊党組織による入党比率の規定を厳格に執行すべきである。例えば、徴集兵の入党は、毎年、徴集兵の総数の5%以内に抑える。士官（士官候補生を含む）の入党は、毎年、非党員士官の総数の30%以内に抑える（うち初級士官の入党は、毎年、非党員の初級士官の総数の20%以内に抑える）」云々<sup>19</sup>。

なお、以上の記述にみられるように、党の組織部門の実務者や関連分野の中国人研究者は、一定期間における新規入党や在籍党員の量的変化を検討するにあたり、人数の実数、その前年比、人口総数に対する党員割合（「党員密度」と呼ぶ場合もある）、年平均成長率の4つをとくに重視している<sup>20</sup>。したがって、以下の分析でも、これらの数値を適宜参照しながら議論を進める。

---

年11月14日、<http://www.jzdjw.gov.cn/article/zhengcewenjian/13878.html>。

<sup>18</sup> 李國喜「第8講 發展黨員的重點工作：嚴格調控黨員隊伍規模」『全國黨員幹部現代遠程教育』、<http://xuexi.12371.cn/2015/10/10/VIDE1444465807911463.shtml>。

<sup>19</sup> 劉琪「深刻理解準確把握發展黨員和黨員管理工作的總要求：學習《關於加強新形勢下軍隊發展黨員和黨員管理工作的意見》」『軍隊政工理論研究』（上海）第14卷第6期（2013年12月）、頁33。

<sup>20</sup> 例えば、劉學申、前掲論文；胡小君、前掲論文。

### 三 習近平時代の入党動向と党員集団の変化

#### 1 入党者の総数と職業構成

表 2 全国の入党者の総数と職業別内訳

(単位：万人)

	胡錦濤時代		習近平時代						
	2008年	2009年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
入党者の総数	280.7	297.1	240.8	205.7	196.5	191.1	198.2	205.5	234.4
(前年比)		+5.84%		-14.58%	-4.47%	-2.75%	+3.72%	+3.68%	+14.06%
労働者	20.9	20.2	17.5	14.5	13.6	13.3	12.5	13.2	14.3
(前年比)		-3.35%		-17.14%	-6.21%	-2.21%	-6.02%	+5.60%	+8.33%
農牧漁民	55.9	60.1	42.6	35.2	34.8	34.1	35.8	38.2	42.4
(前年比)		+7.51%		-17.37%	-1.14%	-2.01%	+4.99%	+6.70%	+10.99%
党政機関 工作人員	12.3	12.9	11.3	10.6	10.7	10.8	11.3	11.6	13.4
(前年比)		+4.88%		-6.19%	+0.94%	+0.93%	+4.63%	+2.65%	+15.52%
企業事業 単位・社会 組織の管理 人員と 専門技術 人員	58.1	58.5	50.7	45.3	43.0	41.4	46.3	50.3	56.9
(前年比)		+0.69%		-10.65%	-5.08%	-3.72%	+11.84%	+8.64%	+13.12%
学生	106.7	118.5	94.6	76.7	71.8	68.9	69.9	70.4	84.4
(前年比)		+11.06%		-18.92%	-6.39%	-4.04%	+1.45%	+0.72%	+19.89%
その他の 職業人員	26.8	27.0	24.2	23.3	22.7	22.6	22.4	21.7	22.9
(前年比)		+0.75%		-3.72%	-2.58%	-0.44%	-0.88%	-3.13%	+5.53%

(注) 2012年は「企業事業単位管理人員、専門技術人員」を、2013年は「企業専門技術人員」「企業管理人員」「事業単位・民弁非企業単位管理人員、同専門技術人員」の3つを、2014～2017年は「企業事業単位・民弁非企業単位専門技術人員」と「企業事業単位・民弁非企業単位管理人員」の2つを、2018年以降は「企業事業単位・社会組織管理人員」と「企業事業単位・社会組織専門技術人員」の2つを、それぞれ合算した数字。

(出典) 以下の資料を総合的に利用して、筆者作成。鈴木隆『中国共産党の支配と権力：党と新興の社会経済エリート』（慶應義塾大学出版会、2012年）、184ページ、表3-1の当該年度の中国語資料；同「習近平時代における中国共産党の党員リクルート政策：労働者の疎外と労農同盟喪失の組織実態」『国際問題』第673号（2018年7月）、18ページ、第1表の中国語資料；中共中央組織部「2018年中国共産党党内統計公報」『人民日報』2019年7月1日、第4版；「中共中央組織部發布 2019年中国共産党党内統計公報」『黨建研究』（北京）第7期（2020年）、頁4～5。

表2には、2008年から2019年まで計9年間（2010～2012年は当局未公表）の全国の入党動向について、入手可能な各年の数値をまとめた。これによれば、胡錦濤時代の2009年に297万1000人を数えた入党者の総数は、黨員リクルートの量的抑制が開始された2013年以降、2016年まで急速に減少した。2016年の入党者は、2013年より約50万人、2009年と比べると100万人以上も減り、2009年実績の約6割となった（表2：2016年191万1000人）。しかし、翌2017年から増加に転じ、本文執筆時点（2021年5月現在）での直近の公表実績は、2019年の234万4000人である。

習近平が二期目の党総書記に就任した2017年からは、既述のとおり、入党者は増加の傾向を回復したが、2019年の実数は2013年よりも依然少ない（表2：2013年240万8000人）。胡錦濤時代と比べると、入党者が300万人近くを誇った2009年の数字には遠く及ばない。

入党者数のこうした特異な増減の動きを踏まえると、少なくとも量的側面に注目した場合、黨員リクルートの分野でも、前任の胡錦濤時代とは異なる〈習近平時代〉が存在するといつてよからう。

表3には、表2に基づき、習近平時代（2013～2019年）について、入党者が最少であった2016年をそれぞれの終点・起点とした場合の減少期（2013～2016年）と増加期（2016～2019年）の各4年間の年平均成長率を示した。この表からは、減少期には、入党者数が年平均で約7%ずつ減り、増加期にはほぼ同じ割合で増えるという対照的な動きがあったことが判明する（表3：入党者の総数、減少期-7.47%、増加期+7.04%）。おそらく2013年当初から、習近平政権の1期目は削減、2期目は増加という計画があったものと思われる。

表 3 全国における入党者の各職業集団の年平均成長率

	減少期 (2013～2016 年) (減少幅の大きさ)	増加期 (2016～2019 年) (増加幅の大きさ)
入党者の総数	-7.47%	+7.04%
労働者	-8.74% (2 位)	+2.45% (5 位)
農牧漁民	-7.15% (3 位)	+7.53% (2 位)
党政機関工作人員	-1.50% (5 位)	+7.46% (3 位)
企事業単位・社会組織の 管理人員と専門技術人員	-6.53% (4 位)	+11.18% (1 位)
学生	-10.03% (1 位)	+7.00% (4 位)
その他の職業人員	-2.25%	+0.44%

(出典) 表 2 に基づき、筆者作成。

また、職業集団ごとの増減に着目すると、具体的な職種が不明な「その他の職業人員」を除き<sup>21</sup>、減少期では、その割合が大きい順に、1 位「学生」→2 位「労働者」→3 位「農牧漁民」→4 位「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」→5 位「党政機関工作人員」であった。対して、増加期は、1 位「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」→2 位「農牧漁民」→3 位「党政機関工作人員」→4 位「学生」→5 位「労働者」であった。ただし、2 位の「農牧漁民」と 3 位の「党政機関工作人員」は僅差である。

このように入党者全体の増減が、おおむね±7%であったとしても、各職種の増減の割合は一律ではない。一般論として、この「減少幅が大きい／増加幅が小さい」ほど、当該職業人への共産党側の

<sup>21</sup> 地方によっては、「その他の職業人員」の一部に、軍や武装警察に所属する党員が含まれる（内モン自治区黨委組織部、前掲「2018 年全區黨内統計公報」）。



組織内包摂の意欲が低く、「減少幅が小さい／増加幅が大きい」ほど、意欲が高いことを示す。

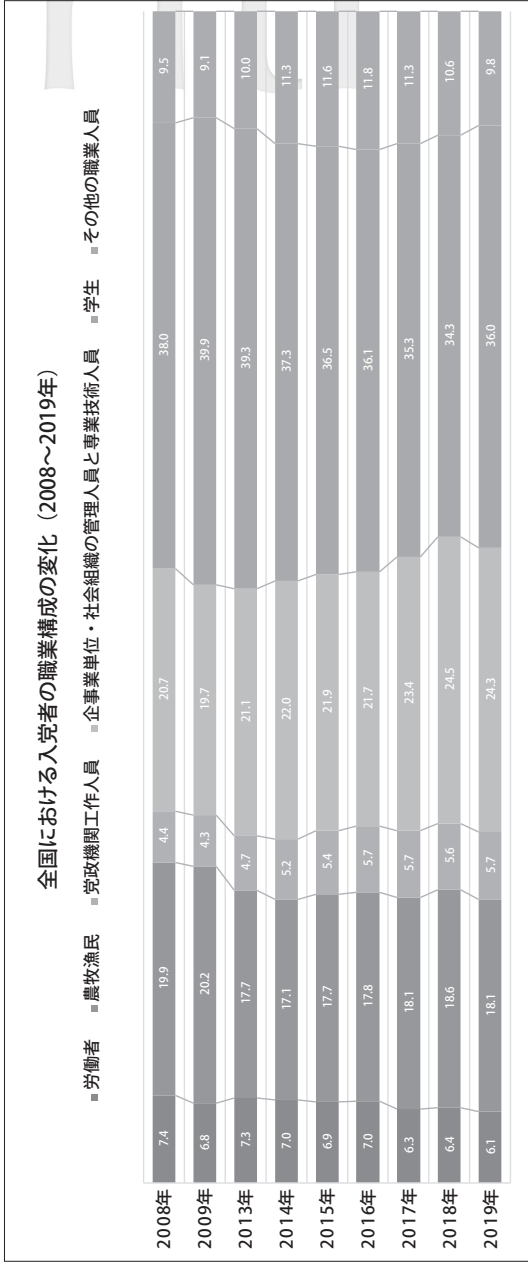
表3によれば、「労働者」は、最大の削減対象であったにもかかわらず、入党者の回復ペースが最も低調である（表3：減少期－8.74%、増加期＋2.45%）。それゆえ、「労働者」は、労働者階級の前衛を自称する共産党の組織から、明らかに疎外された状態にある。

削減幅の小ささと増加幅の大きさからみて、「党政機関工作人員」は、入党対象の選定において優越的な地位を占めている（表3：減少期－1.50%、増加期＋7.46%）。「企業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」も、減少幅に対して増加幅が大きい。増加幅の順位は1位であり、数値もほかに比べてひとときわ高い（表3：増加期＋11.18%、1位）。

他集団と比べると、「農牧漁民」と「学生」は、減少と増加の振幅がいずれも大きい。こうした増減のありかたは、入党者の認定と量的確保において、数合わせ要員的な性質を示唆する。企業の採用活動にととると、不況時には大量減首の対象となりやすいが、好況時にも、一定の人手の確保が必要とされる単純・非正規労働者の人々を想起させる。

以上を総合すると、習近平時代の黨員リクルートでは、もともと体制の内部に属する「党政機関工作人員」（党や国家機関で働く非黨員の者）を、党組織の中核的人材と位置づけ、ほかに「企業単位・社会団体の管理人員と専門技術人員」（ホワイトカラーの管理職、専門職、技術職の人々）を優先的な入党対象としている。これとは対照的に、「労働者」への締め出しの姿勢を強めている。社会主義イデオロギーへの忠誠を強調する習近平の呼びかけとは裏腹に、中国共産党は、「労働者」の入党にきわめて冷淡である。

図 4 全国における入党者の職業構成の変化



(出典) 表 2 に基づき、筆者作成。

図4には、2008～2019年（2010～2012年は当局未公表）までの各年の入党者について、その職業構成の百分比を掲げた。この表からは、胡錦濤時代から習近平時代までの長期的な変化の趨勢が確認できる。ただし、胡錦濤時代の2010～2012年の関連数値が不明なため、大まかな傾向抽出にとどまる。

1つめの特徴として、習近平時代の2013年以降、入党者全体に占める「労働者」の比率は減少傾向にある。加えて、減少のスピードも速い。2016年まで7%前後を維持していたが、2017～2019年のわずか3年で6.1%まで低下した。このままのペースが続けば、早晚5%台に突入する。

2つめに、「農牧漁民」の割合は、17～18%の範囲内を維持している。しかし、2割前後あった胡錦濤時代の水準には戻っていない。

3つめに、胡錦濤時代から習近平時代を通じて、「党政機関工作人員」と「企業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」は、いくどかの微減を経ながらも、両者の割合は増えている。

4つめに、したがって、「労働者」と「農牧漁民」の合計比率と、「党政機関工作人員」と「企業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」のそれを比べた場合、2013年を境に、後者が前者を上回る状況が現れている。しかも、その差は拡大している。2019年には、両グループの差は、5.8ポイントまで開いた（表3：2019年、労働者＋農牧漁民＝24.2%；党政機関工作人員＋企業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員＝30.0%）。

## 2 在籍党員の総数と職業構成

表 5 全国の在籍党員の総数と職業別内訳

(単位：万人)

	胡錦濤時代					習近平時代						
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
在籍党員の総数 (前年比)	7593.1	7799.5	8026.9	8260.2	8512.7	8668.6	8779.3	8875.8	8944.7	8956.4	9059.4	9191.4
		+2.72%	+2.92%	+2.91%	+3.06%	+1.83%	+1.28%	+1.10%	+0.78%	+0.13%	+1.15%	+1.46%
労働者 (前年比)	733.6	693.7	698.9	704.7	725.0	734.3	734.2	724.4	709.2	664.8	651.4	644.5
		-5.44%	+0.75%	+0.83%	+2.88%	+1.28%	-0.01%	-1.33%	-2.10%	-6.26%	-2.02%	-1.06%
農牧漁民 (前年比)	2361.2	2402.0	2442.7	2483.4	2534.8	2570.3	2593.7	2602.5	2596.0	2549.9	2544.3	2556.1
		+1.73%	+1.69%	+1.67%	+2.07%	+1.40%	+0.91%	+0.34%	-0.25%	-1.78%	-0.22%	+0.46%
党政機関 工作人員 (前年比)	620.8	659.6	681.2	699.9	715.7	730.3	739.7	748.5	756.2	754.2	756.4	767.8
		+6.25%	+3.27%	+2.75%	+2.26%	+2.04%	+1.29%	+1.19%	+1.03%	-0.26%	+0.29%	+1.51%
企事業単位・社会 組織の管理人員・ 専門技術人員 (前年比)	1687.6	1772.5	1841.3	1925.0	2019.6	2096.8	2154.8	2205.9	2255.1	2304.2	2380.7	2450.7
		+5.03%	+3.88%	+4.55%	+4.91%	+3.82%	+2.77%	+2.37%	+2.23%	+2.18%	+3.32%	+2.94%
学生 (前年比)	201.4	226.9	253.9	277.8	290.5	260.4	224.7	203.4	187.0	178.8	180.5	196.0
		+12.66%	+11.90%	+9.41%	+4.57%	-10.36%	-13.71%	-9.48%	-8.06%	-4.39%	+0.95%	+8.59%
離職・退職 人員 (前年比)	1428.2	1452.5	1485.2	1518.2	1553.8	1589.1	1621.6	1658.1	1692.7	1754.0	1814.8	1866.1
		+1.70%	+2.25%	+2.22%	+2.34%	+2.27%	+2.05%	+2.25%	+2.09%	+3.62%	+3.47%	+2.83%
その他の 職業人員 (前年比)	560.1	592.3	623.6	651.3	673.3	687.4	710.5	733.0	748.5	750.4	731.4	710.4
		+5.75%	+5.28%	+4.44%	+3.38%	+2.09%	+3.36%	+3.17%	+2.11%	+0.25%	-2.53%	-2.87%

(注) 2012年は「企事業単位管理人員、専門技術人員」を、2013年は「企業専門技術人員」「企業管理人員」「事業単位・民非非企業単位管理人員、同専門技術人員」の3つを、2014～2017年は「企事業単位・民非非企業単位専門技術人員」と「企事業単位・民非非企業単位管理人員」の2つを、2018年以降は「企事業単位・社会組織管理人員」と「企事業単位・社会組織専門技術人員」の2つを、それぞれ合算した数字。

(出典) 以下の資料を総合的に利用して、筆者作成。鈴木隆『中国共産党の支配と権力：党と新興の社会経済エリート』（慶應義塾大学出版会、2012年）、184ページ、表3-1の当該年度の中国語資料；同「習近平時代における中国共産党の党員リクルート政策：労働者の疎外と労農同盟喪失の組織実態」『国際問題』第673号（2018年7月）、19ページ、第2表の中国語資料。2018年以降は、本稿の表2の出典に同じ。

表6 全国における在籍党員の各職業集団の年平均成長率

	胡錦濤時代 (2008～2012年)	習近平時代 (2013～2019年)
在籍党員の総数	+2.90%	+0.98%
労働者	-0.29%	-2.15%
農牧漁民	+1.79%	-0.09%
党政機関工作人員	+3.62%	+0.84%
企業単位・社会組織の 管理人員と専門技術人員	+4.59%	+2.63%
学生	+9.59%	-4.62%
離職・退職人員	+2.13%	+2.71%
その他の職業人員	+4.71%	+0.55%

(出典) 表5に基づき、筆者作成。

表5には、2008年～2019年までの過去12年間における在籍党員の総数と、その職業ごとの内訳を示した。また、同表に基づき、胡錦濤時代（2008～2012年の5年間）と習近平時代（2013～2019年の7年間）の在籍党員の年平均成長率を記したものが、表6である。この2つの表からは、在籍する党员集団の特徴として、次の4点が挙げられる。

第一に、胡錦濤・習近平の両時代を通じて、共産党の党员数は一貫して増加した。この結果、胡錦濤時代の2008年末時点では、総人口に対する党员割合は5.72%であったが、習近平時代の2019年末時点には、6.57%に上昇した（表5：2008年、党员総数7593万1000人、総人口13億2802万人；2019年、党员総数9191万4000人、総人口14億5万人）<sup>22</sup>。

<sup>22</sup> 総人口は、國家統計局編『中國統計年鑑2020』（北京：中國統計出版社）2020年、頁31。

第二に、しかし、新規入党者の減少により、習近平時代には、党员数の伸びが大きく抑制された。胡錦濤時代の最終年の2012年には、在籍党员の総数は前年比で+3.06%の伸びを記録したが、2017年の同じ数字は+0.13%まで落ち込んだ。2019年は+1.46%で、依然として2012年の半分に満たない(表5)。表6によれば、習近平時代の党员総数の年平均成長率は、胡錦濤時代のおよそ3分の1、1%未満に低下した(表6: +2.90%→+0.98%)。前節で述べたとおり、2013年時点で中央組織部は、在籍党员数の年平均の伸びを+1.5%、本音ベースでは+1.2%と指示していたが、実際にはさらに少ない状態で推移している。

第三に、胡錦濤時代、「学生」は毎年約10%の割合で増え続けていたが、習近平時代には逆に、約5%ずつ減り続けた(表6: +9.59%→-4.62%)。むろんこの原因は、「学生」の入党者が減少したためである。加えて、習近平時代には、全ての現役の就業者で、胡錦濤時代よりも党员数の伸び率が低下した(表6)。

他方、習近平時代にも、毎年一定数の定年退職者が発生するため、「離職・退職人員」だけは、唯一、胡錦濤時代に比べて年平均成長率が上昇し、しかも、他のいずれの職種よりもその値が高かった(表6: +2.13%→+2.71%)。したがって、学生などの若年層の入党が、今後も抑制され続けるならば、党組織の高齢化が急速に進行する可能性がある。すぐ後でみるように、その兆候はすでに現れている。

第四に、既述のとおり、習近平時代には、「党政機関工作人員」と「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」が、党员リクルートの優先対象であった。結果として、この2つのグループは、在籍党员の人数でも、増加のスピードを落としたとはいえ、胡錦濤時代からの正の伸びを維持した。その伸び率も、1位の「離職

・退職人員」に続き、それぞれ3位と2位を確保した（表6：習近平時代、党政機関工作人員＋0.84%；企業事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員＋2.63%）。

図7は、在籍党員の職業集団の構成割合について、その時系列的变化をまとめたものである。前出の図4とは異なり、図7は、ストック的観点に基づき、これまでに形成された職業構成上の人的資源のありようを示している。これによれば、胡錦濤時代（2008～2012年）から習近平時代（2013～2019年）に至る党勢発展の全体的なトレンドは、次のように総括できる。

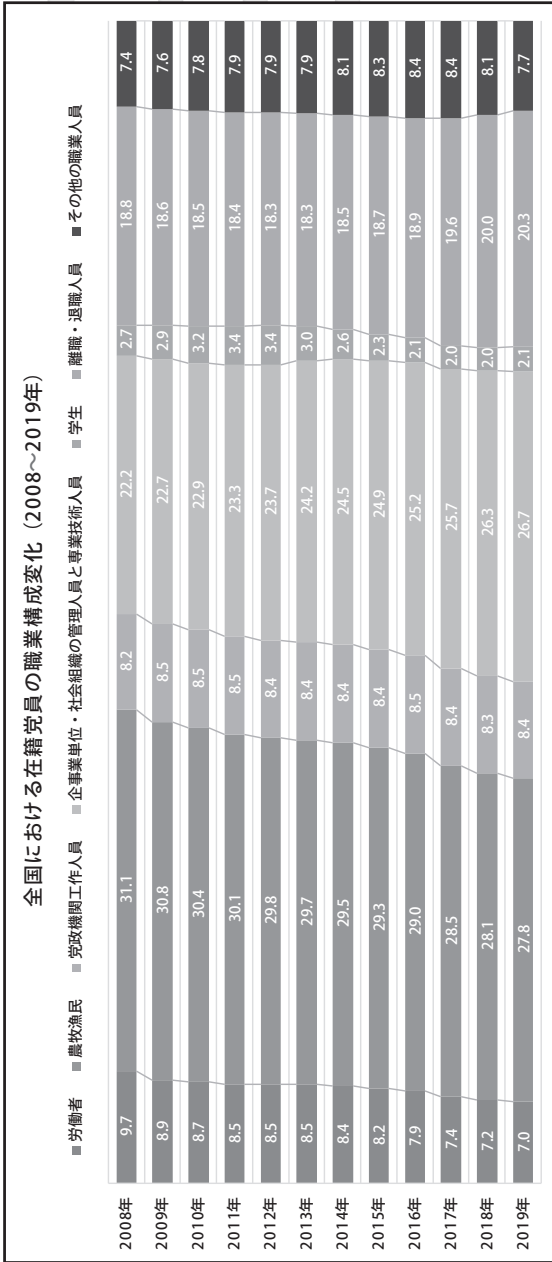
まず、「離職・退職人員」について、胡錦濤時代には微減が続いていた。すなわち、組織の若返りが進んでいた。しかるに、習近平時代には増加傾向に転じ、そのペースも速い。中国社会と同様、共産党の組織も、高齢化の危機に直面している。

これに関して、中国社会全体では、総人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は、2019年末時点で12.6%、国連の定義でいうところの高齢化社会（高齢化率7%以上）の段階に位置している<sup>23</sup>。一方、現在の中国の法定退職年齢は男性60歳、女性55歳であり、それゆえ、党員統計の「離職・退職人員」の割合は、人口統計の高齢化率よりも高く算定される。だが、そうした事情を考慮しても、2019年末時点で、「離職・退職人員」が、党員全体の約2割を占めている事実は看過されない。中国における既存の政治体制のもとでは、党員メンバーシップの獲得は、一般市民にとって、最も基本的で枢要な利益表出のルートである。この点、「離職・退職人員」は、党内で、過剰な政治的代表性を有しているのかもしれない。いわば、「中国の特色あるシルバーデモクラシー」の問題である。

---

<sup>23</sup> 同上書、頁33。

図 7 全国における在籍党員の職業構成の変化



(出典) 表 5 に基づき、筆者作成。



また、既出の表2によれば、2019年の「学生」の入党者数が、前年比で約2割も増え、その実数と伸び率のいずれも、職業別で最多の数値を記録した（表2：学生、2019年84万4000人、+19.89%）。これは、そうした党员集団の高齢化に、一定の歯止めをかけようとする指導部の意志の表れと推察される。

次に、ふたたび図7に戻ると、胡錦濤・習近平の両時代を通じて、「労働者」と「農牧漁民」がともに減り続ける一方、「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」は、一貫して増え続けている。2019年末現在、各職業集団の中で、「農牧漁民」はなお最大勢力を誇っているが、2位の「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」が肉薄している（図7：2019年、農牧漁民27.8%；企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員26.7%）。両者の順番が逆転するのも、時間の問題であろう。

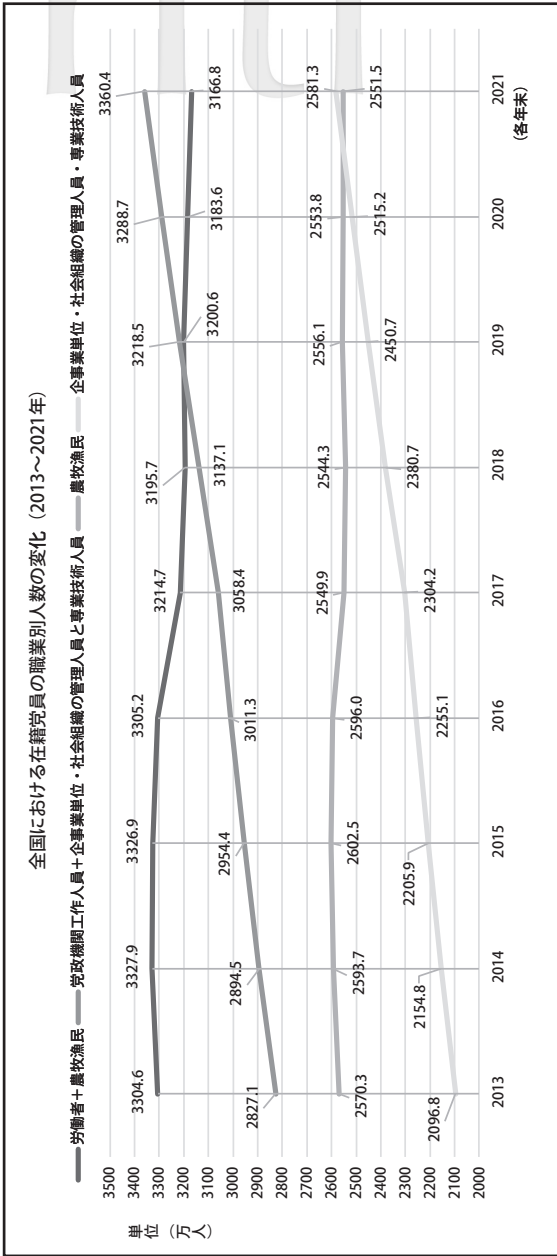
「労働者」に至っては、もはや7%しかいない。平均的な党組織の中で「労働者」に出会うのは困難である。

「農牧漁民」については、中国の国家統計局が定める「国民経済職業分類」の第一次産業（農業、林業、牧畜業、漁業）の就労者と重なり合う部分が多いとみられる。2019年の一次産業の就労人口割合は25.1%で、上記の党员比率（27.8%）と比較的近い<sup>24</sup>。それゆえ、戸籍制度に代表されるさまざまな制度的不平等により、都市部の就業者に比べて、社会経済的劣位に置かれやすい農民や漁民にとって、党员資格を通じた政治的発言権のチャンスは、主として、習近平時代より前に形成された経路依存的な人的資源によって、実社会と同程度の水準で、今日なおかろうじて担保されている。

---

<sup>24</sup> なお、2019年の第二次産業、第三次産業の各就労人口は、それぞれ27.5%、47.4%である（同上書、頁106）。

図 8 全国における在籍党員の職業別人数の変化



(注) 2020年と2021年は、2013～2019年の年平均成長率に基づく予測値。  
 (出典) 表5に基づき、筆者作成。

以上の結果、図8にみられるとおりに、在籍黨員全体の中では、すでに2019年には、「党政機関工作人員」と「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」の就労者の合計が、「労働者」と「農牧漁民」のグループを上回っている（表5：2019年、党政機関工作人員＋企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員＝3218万5000人；労働者＋農牧漁民＝3200万6000人）。同様に、現在の趨勢が続くと仮定した場合、2021年には、最多の職業集団も、「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」が、「農牧漁民」に取って代わる見込みである。これを言い換えれば、政党組織論の観点からみると、2021年の党創立百周年の記念すべき年に、中国共産党は、労農同盟の組織実態と、これに基づく階級政党としてのイデオロギー的正統性を実質的に喪失する可能性が高い。

またこれに関連して、第二節でその経緯を説明したように、共産党は2013年以降、「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」にかかわる党内統計の分類方法の変更を、繰り返し実施してきた。もともとは、「企事業単位管理人員、専門技術人員」の単独項目であったものを、所属先や職位ごとに細分化して表記するやり方に改めた。

この狙いはおそらく、ホワイトカラーの管理職、専門職、技術職の黨員たちを、複数項目に分けて記載することで、「労働者」や「農牧漁民」の黨員の相対的な少なさを糊塗しようとする点にある。そこには、イデオロギー的正統性に背馳することへの後ろめたさ、ならびに、そうした事実のイデオロギー暴露が政治問題化することへの懸念がみてとれよう<sup>25</sup>。

---

<sup>25</sup> したがって例えば、「労働者」カテゴリの名称変更など、黨員統計における分類項目や表記の仕方は、今後も必要に応じて見直されるであろう。

## 四 結論

筆者は、本文において、以下のことを明らかにした。

第一に、2012年に習近平が党総書記に就任して以来、前任の胡錦濤時代とは異なる党員リクルート政策の展開がみられた。入党者は、2013～2016年まで大幅に減少し、2017年からは増加傾向に変わった。ただし、胡錦濤時代に比べると、習近平時代は入党抑制の姿勢が顕著である。

第二に、習近平時代には、「党政機関工作人員」と「企業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」の人々が優先的にリクルートされている。一方、「労働者」は、組織的に排斥されているといっても過言ではない。「農牧漁民」と「学生」の入党は、数合わせの性格が強いが、最近では、党員集団の高齢化対策として、若年層である「学生」への入党奨励の機運が高まっている。

第三に、在籍党員の状況を見ると、2019年末時点の党員総数は、約9191万4000人で、総人口に対する党員比率は6.57%である。胡錦濤時代に比べて習近平時代には、党員比率は高まったが、党員総数の増加スピードには急ブレーキがかけられた。

第四に、在籍党員の職業構成について、胡錦濤時代には減っていた「離職・退職人員」の割合が、習近平時代に入って増え続けている。このことは、党員資格に基づく高齢者の政治的影響力の増大、組織の高齢化の危機などの問題をはらんでいる。

第五に、胡錦濤・習近平の両時代を通じて、党員集団に占める「労働者」と「農牧漁民」の割合は一貫して減少し、逆に、「企業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」は、増加している。今日ではすでに、在籍党員の中で、「党政機関工作人員」と「企業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」の就労者の合計が、

「労働者」と「農牧漁民」のグループを上回っている。最多集団についても、2021年には、「企業単位・社会組織の管理人員と専業技術人員」が、「農牧漁民」からその地位を奪う可能性が高い。

最後に、これまでの議論を敷衍しつつ、政治組織としての中国共産党のイデオロギー的立ち位置と習近平の指導者像について、若干の考察を加えるならば、次の2点が指摘できる。

1 つめに、現行の中国共産党規約は、その冒頭で、該党が「中国労働者階級の前衛部隊であると同時に、中国人民と中華民族の前衛部隊」（綱領）であり、党員は「中国労働者階級の共産主義の自覚をもった前衛戦士」（第二条）たらんことを表明している<sup>26</sup>。憲法の第一条も、「中華人民共和国は、労働者階級が指導し、労農同盟を基礎とする人民民主独裁の社会主義国家である」ことを謳っている<sup>27</sup>。

しかし、結党百周年を迎えた今日の中国共産党は、「中国人民と中華民族」の団体でこそあれ、「労働者階級」の言葉は、すでに名誉称号的な意味合いしかもっていない。毛沢東時代以来、農民主体の党員集団を基礎として、党内に擬制的に存在した労農同盟の組織基盤も縮小している。それゆえ、階級政党の本義からみて、現存す

---

<sup>26</sup> 「中国共産党章程（2017年10月24日、修正採択）」『共産黨員網』、<http://www.12371.cn/special/zggcdzc/zggcdzcqw/>。周知のとおり、「中国共産党は中国工人階級の先鋒隊、同時は中国人民和中華民族の先鋒隊」の文言は、2002年に開かれた16回党大会での党規約の修正によって盛り込まれた。これは同規約で、江沢民が提唱した「3つの代表」論が、毛沢東思想や鄧小平理論とともに、党の指導思想に位置づけられたことに伴う措置であった。「3つの代表」導入の政治的背景とそれに基づく新興エリート層への党員リクルートの詳細は、鈴木隆、前掲『中国共産党の支配と権力』第3章。

<sup>27</sup> 「中華人民共和國憲法（2018年3月11日、修正採択）」『共産黨員網』、<http://news.12371.cn/2018/03/22/ARTI1521673331685307.shtml>。

る中国共産党 (The Communist Party of China) を、〈中国における共産党〉 (Communist Party in China) と同定するのは、もはや困難である。

2 つめに、政党組織論の観点に立つ限り、習近平はごく一般的な、国家主義を奉じる政権党のリーダーにはかならない。実際、2012 年の党総書記就任以来、折に触れて示されてきた習近平の実行力の大きさ (大規模な反腐敗キャンペーン、党・政府・軍の大胆な機構制度改革、なにより、黨員リクルートにおける入党者の大幅削減など) を考慮すれば、習が、上述のごとき黨員集団の現状を事実上容認していること、毛沢東時代の労働者・農民中心の革命党の復活を望んでいないことは明らかである。

この点で見逃せないのは、2015 年 5 月に国務院が発表した「中国製造 2025」や、2021 年 3 月の全人代で採択された「第 14 次五カ年計画 (2021~2025 年) と 2035 年までの長期目標」に示されるとおり、党中央が、米国との覇権争いの勝利を目指して、国民生活の質的向上を柱とする経済社会のさらなる発展、科学技術とイノベーションのいっそうの振興を、統治の現場である地方に対し、強く要求している事実である<sup>28</sup>。2017 年 10 月の 19 回党大会で、政治報告を読み上げた習近平は、「産業労働者・青年農民・高知識集団の中から、ならびに、非公有制経済組織と社会組織での黨員リクルートを重視する」と述べたが、実際の重点は明らかに「高知識集団」に置かれている<sup>29</sup>。

---

<sup>28</sup> 鈴木隆「習近平政権『内向的グローバルパワー』への道」(上・下)『外交』第 64 号 (2020 年 11 月)、第 65 号 (2021 年 1 月)。

<sup>29</sup> 習近平「決勝全面建成小康社会 夺取新时代中国特色社会主义伟大胜利 (2017 年 10 月 18 日)」『中国共産党新聞網』2017 年 10 月 27 日、<http://cpc.people.com.cn/19th/n1/2017/1027/c414395-29613458.html?from=groupmessage&isappinstall=0>。

他方、党员リクルートを実際に担当する各級の党委員会幹部たちは、そうした政策的必要性に応えつつ、質量ともに限定的な地元社会の人的資源の中から、しかも、入党者数の上限設定の枠内で、中央の要求に役立つ党組織のメンバーを選出しなければならない。こうした有形無形の圧力に対し、個人の能力・手腕・資源の面で力を発揮しうる人材として、大方の幹部——おそらくは習近平も含めて——が期待するのは、社会経済的劣位に置かれやすい一般の労働者や農民ではなく、党と国家の機関、大企業、有力な大学や研究所で働くホワイトカラーの経営者、専門家、管理職、技術職の人々であろう。結果として、社会主義イデオロギーへの信奉と献身を強調する習近平指導部の下でも、従前と同じく、ブルーカラーよりもホワイトカラーの入党優位に変わりはなく、むしろさらに拍車がかけられている。

ただし、「組織路線は政治路線に奉仕する」との中国共産党の政治原則を想起すれば、そうした政策的帰結が、改革開放以来、とくに江沢民の「3つの代表」を契機とする動きと、表面的には同じであったとしても、江沢民と習近平の両時代では、党员リクルートをめぐる政治環境や最終目標が大きく異なっている。すなわち、江沢民が、体制維持と支持基盤の拡大のため、社会経済エリートの政治的取り込みを決断したのに対し、習近平は、経済と科学技術の優位性の確保など、グローバルな覇権競争に力点を置いている。前者が、内向きの政治志向であるのに対し、後者は、より積極的で外向的な性質を帯びている。

以上を要するに、習近平は、党の組織構築の面で、「紅」の階級成分、すなわち、労働者と農民を重視した毛沢東主義的な理念や実践とはおよそ無縁な、むしろ〈中国における共産党〉を名存実亡の状態へと積極的に追いやることによって、21世紀における「中華

民族の偉大な復興」を追求しているのである。

(追記、2021年7月1日時点)

本稿の査読・修正中の2021年7月1日、中国共産党は創立百周年を迎えた。前日の6月30日には、本文で扱った2019年末の数値以来となる最新の党員統計が発表された<sup>30</sup>。それによれば、2021年6月5日時点で、全国の在籍党員は9514万8000人であった。すなわち、文中で紹介した中央組織部の指示(2022年末時点での在籍党員数を約9600万人に抑える)の上限いっぱい的人数が確保される見込みである。ただし、2021年前半の入党者数は、2014年から2018年までの各年の通年実績よりも多く、いわば「ご祝儀相場」的大量入党が実現した(入党時期の内訳、2020年1月1日～12月31日まで、242万7000人；2021年1月1日～6月5日まで、231万2000人)。

これ以外に、本文の結論部分で言及した評価や予測については、それを補強するデータが示された。要点のみを箇条書きにすれば、以下のとおり。

- ①入党者における「労働者」と「農牧漁民」の減少、及び、「党政機関工作人員」と「企業事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」の増加という趨勢の継続。
- ②党内の高齢化(61歳以上の者が全体の28.3%)対策としての学生の入党増の継続。
- ③在籍党員における「労働者」と「農牧漁民」の減少、及び、「企業事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」の増加という趨

---

<sup>30</sup> 中共中央組織部「中国共産党党内統計公報」『人民日報』(北京)2021年7月1日、第5版。



勢の継続。

- ④同じく、在籍党员における「党政機関工作人員」と「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」の合計人数が、「労働者」と「農牧漁民」のそれを超え、かつ、その差の拡大傾向。
- ⑤最多の職業集団について、「農牧漁民」から「企事業単位・社会組織の管理人員と専門技術人員」への2021年中の交代可能性の高まり（2021年6月5日時点で、両者の差はわずか13万人で、かろうじて「農牧漁民」が首位を維持）。

（寄稿：2021年5月22日、採用：2021年7月5日）

# 中國共產黨、和「工人」訣別的先鋒隊

— 習近平時代的黨員招募與黨員集團 —

鈴木隆

(愛知縣立大學外國語學部中國學科副教授)

## 【摘要】

本論文旨在從政黨組織論的觀點，觀察習近平時代中國共產黨黨員招募的動向，以及探討招募過程中，黨員集團職業組成的變化。

2012 年，習近平就任共產黨總書記以來，相較於胡錦濤時代，管控入黨的趨勢明顯保守。儘管目前在籍黨員人數佔中國總體人口比例仍高，但是就黨員增加速度而言是急踩剎車。

當今在籍黨員中，「黨政機關工作人員」與「企事業單位・社會組織管理人員與專業技術人員」的工作者總計，已超越「工人」和「農牧漁民」集團。而在建黨百年的 2021 年之際，最多人數的職業集團，非常有可能會由「企事業單位・社會組織管理人員與專業技術人員」取代「農牧漁民」。

因此，從階級政黨的本質來看，當前的中國共產黨（The Communist Party of China），恐難以和「在中國的共產黨」（Communist Party in China）劃上等號。在黨的組織結構層面，隨著習近平積極追求的是 21 世紀中「中華民族的偉大復興」，「在中國的共產黨」可能走上名存實亡的狀態。

關鍵字：中國共產黨、黨員集團、黨員數、職業構成

# The Vanguard with Forsaking “Laborers”: The Recruitment Policy of the Chinese Communist Party in the Xi Jinping Era

*Takashi Suzuki*

Associate Professor, Department of Chinese Studies,  
School of Foreign Studies, Aichi Prefectural University

## 【Abstract】

From the perspective of party organization theory, the object of this paper is to examine the trend of the Communist Party of China (CPC)’s recruitment of its members and the resulting changes in the occupational composition of the Party during the Xi Jinping era.

Since Xi Jinping has become the General Secretary in 2012, there has been a more pronounced restraint in joining the Party than in the Hu Jintao era. As a result, the number of enrolled party members has increased in terms of the ratio of party members to the total population. However, the speed of growth in the number of party members has slowed down.

Today, among the registered members of CPC, the total number of people who work in “the Party organs and governmental offices 黨政工作機關工作人員” and those in “the managerial positions or technical jobs of companies, non-profit groups and social organizations 企事業單位、社會組織的管理人員和專業技術人員”, exceeds that of “laborers 工人” and “peasants, stock-farmers and fishermen 農牧漁民”. In 2021, the 100th commemorative anniversary of the founding of CPC, the largest occupational group of the Party is also likely to be replaced by the above white-collar strata for the primary industrial workers.

Considering the *raison d'être* of the class party, therefore, it is difficult to identify the existing CPC as a “Communist Party in China”. Moreover, in terms of the Party organizational structure, Xi Jinping has been pursuing “the Great Rejuvenation of the Chinese Nation 中華民族偉大復興” in the 21st century through actively pushing a “Communist Party in China” into a state of nominal existence.

**Keywords:** The Communist Party of China, party building, party members, the occupational composition of the Party

## 〈参考文献〉

- 鈴木隆「習近平政権『内向的グローバルパワー』への道（上・下）『外交』第64号（2020年11月）、第65号（2021年1月）。
- Suzuki, Takashi, “Shu Kinpei seiken ‘naikoteki gurobaru pawa’ eno michi” [Xi Jinping’s Road for ‘the Inward Global Power’], *Gaiko*, No. 64, November 2020 and No. 65, January 2021.
- 鈴木隆「習近平時代における中国共産党の党員リクルート政策：労働者の疎外と労農同盟喪失の組織実態」『国際問題』第673号（2018年7月）、15～28ページ。
- Suzuki, Takashi, “Shu Kinpei jidai ni okeru Chugoku kyosanto no toin rikuruto seisaku: rodosha no sogai to rono domei soshitsu no soshiki jittai” [Party Recruitment Policy of the Communist Party of China in the Xi Jinping Era: The Alienation of Labors and the Organizational Reality of ‘The Labor-Peasant Alliance’], *Kokusai Mondai*, No. 673, July 2018, pp. 15-28.
- 鈴木隆『中国共産党の支配と権力：党と新興の社会経済エリート』（慶應義塾大学出版会、2012年）。
- Suzuki, Takashi, *Chugoku kyosanto no shihai to kenryoku: To to shinko no shakai keizai erito* [The Rule and Power of the Communist Party of China in the 21st Century: The Party and Newly Emerging Socio-Economic Elites], Keio gijuku daigaku shuppankai, 2012.
- 宮本雄二『習近平の中国』（新潮社、2015年）。
- Miyamoto, Yuji, *Shu Kinpei no Chugoku* [Xi Jinping’s China], Shinchosha, 2015.
- 毛里和子『現代中国政治 [第三版]：グローバルパワーの肖像』（名古屋大学出版会、2012年）。
- Moli, Kazuko, *Gendai Chugoku seiji [dai san ban]: gurobaru pawa no shozo* [Contemporary Chinese Politics, the 3rd edition], Nagoya daigaku shuppankai, 2012.
- 矢野恒太記念会編『世界国勢図絵 2019/20年版』（矢野恒太記念会、2019年）。
- Yano Tsuneta kinenkai, ed., *Sekai kokusei zue 2019/20 nenban* [World Trend 2019/20], Yano Tsuneta kinenkai, 2019.
- 「中国共産黨章程（2017年10月24日通過）」『共産黨員網』、<http://www.12371.cn/special/zggcdzc/zggcdzcqw/>。
- “Zhongguo gongchandang zhangcheng (2017 nian 10 yue 24 ri tongguo)” [The Constitution of the Communist Party of China (Passed on October 24, 2017)], *Gongchandangyuan wang*.
- 「中華人民共和國憲法（2018年3月11日通過）」『共産黨員網』、<http://news.12371.cn/2018/03/22/ART11521673331685307.shtml>。
- “Zhonghua renmin gongheguo xianfa (2018 nian 3 yue 11 ri tongguo)” [The Constitution of the People’s Republic of China (Passed on March 11, 2018)], *Gongchandangyuan wang*.
- 「中共中央組織部發布 2019年中國共産黨黨內統計公報」『黨建研究』（北京）第7期（2020年）。

- “Zhonggong zhongyang zuzhi bu fabu 2019 nian zhongguo gongchandang dangnei tongji gongbao” [The Organization Department of the CPC (Communist Party of China) Central Committee issued the 2019 CPC Statistics Communiqué], *Dangjian yanjiu*, Beijing, No.7, 2020.
- 「全國發展黨員和黨員管理工作座談會精神傳達提綱」『荊州黨建網』2013年11月14日、<http://www.jzdw.gov.cn/article/zhengcewenjian/13878.html>。
- “Quanguo fazhan dangyuan he dangyuan guanli gongzuo zuotanhui jingshen chuanda tigang” [The Outline of the National Seminar on the Recruitment and Management of Party Members], *Jingzhou dangjian wang*, November 14, 2013.
- 「新疆黨內統計公報發布 全區共有 145.64 萬名」『中國新疆』2015年7月1日、[http://www.chinaxinjiang.cn/zixun/xjxw/201507/t20150701\\_495092.htm](http://www.chinaxinjiang.cn/zixun/xjxw/201507/t20150701_495092.htm)。
- “Xinjiang dangnei tongji gongbao fabu quanqu gongyou 145.64 wan ming” [Party Statistics Bulletin of Xinjiang Autonomous Region, Total 1456400 Members], *Zhongguo Xinjiang*, July 1, 2015.
- 「關於加強新形勢下發展黨員和黨員管理工作的意見（中辦發〔2013〕4號）」『荊州黨建網』2013年11月14日、<http://www.jzdw.gov.cn/article/zhengcewenjian/13877.html>。
- “Guanyu jiaqiang xin xingshi xia fazhan dangyuan he dangyuan guanli gongzuo de yijian (Zhong ban fa [2013] 4 hao)” [Note on Strengthening the Recruitment and Management of Party Members (General Office of the CPC, 2013, No.4)], *Jingzhou dangjian wang*, November 14, 2013.
- 中共西藏自治區委員會組織部「2017年中國共產黨西藏自治區黨內統計公報」『中國共產黨新聞網』2018年7月3日、<http://cpc.people.com.cn/n1/2018/0703/c64387-30113160.html>。
- Zhonggong Xizang zizhi qu weiyuanhui zuzhibu, “2017 nian Zhongguo gongchandang Xizang zuzhi qu dangnei tongji gongbao” [Party Statistics Bulletin of Tibet Autonomous Region 2017], *Zhongguo gongchandang xinwen wang*, July 3, 2018.
- 中共中央組織部「中國共產黨黨內統計公報」『人民日報』（北京）2021年7月1日、第5版。
- Zhonggong zhongyang zuzhibu, “Zhongguo gongchandang dangnei tongji gongbao” [Party Statistics Bulletin of the Communist Party of China], *Renmin ribao*, Beijing, July 1, 2021, p. 5.
- 中共中央組織部「2019年中國共產黨黨內統計公報」『人民日報』（北京）2020年7月1日、第7版。
- Zhonggong zhongyang zuzhibu, “2019 nian Zhongguo gongchandang dangnei tongji gongbao” [Party Statistics Bulletin of the Communist Party of China 2019], *Renmin ribao*, Beijing, July 1, 2020 p. 7.
- 中共中央組織部「2018年中國共產黨黨內統計公報」『人民日報』（北京）2019年7月1日、第4版。

Zhonggong zhongyang zuzhibu, “2018 nian Zhongguo gongchandang dangnei tongji gongbao” [Party Statistics Bulletin of the Communist Party of China 2018], *Renmin ribao*, Beijing, July 1, 2019, p. 4.

中共中央組織部「2015年中國共產黨黨內統計公報」『人民日報』（北京）2016年7月1日、第8版。

Zhonggong zhongyang zuzhibu, “2015 nian Zhongguo gongchandang dangnei tongji gongbao” [Party Statistics Bulletin of the Communist Party of China 2015], *Renmin ribao*, Beijing, July 1, 2016 p. 8.

中共中央組織部「2013年中國共產黨黨內統計公報」『共產黨員網』2014年6月30日、<http://news.12371.cn/2014/06/30/ART11404097880744683.shtml>。

Zhonggong zhongyang zuzhibu, “2013 nian Zhongguo gongchandang dangnei tongji gongbao” [Party Statistics Bulletin of the Communist Party of China 2013], *Gongchandangyuan wang*, June 30, 2014.

內蒙古自治區黨委組織部「2019年全區黨內統計公報」『內蒙古日報（漢）』（呼和浩特）2020年7月2日、第1版。

Neimenggu zizhiq dangwei zuzhibu, “2019 nian quanqu dangnei tongji gongbao” [Party Statistics Bulletin of Inner Mongolia Autonomous Region 2019], *Neimenggu ribao (han)*, Hohhot, July 2, 2020, p. 1.

內蒙古自治區黨委組織部「2018年全區黨內統計公報」『內蒙古日報（漢）』（呼和浩特）2019年7月1日、第4版。

Neimenggu zizhiq dangwei zuzhibu, “2018 nian quanqu dangnei tongji gongbao” [Party Statistics Bulletin of Inner Mongolia Autonomous Region 2018], *Neimenggu ribao (han)*, Hohhot, July 1, 2019 p.4.

本書編寫組編『十一屆三中全會以來歷次黨代會、中央全會報告 公報 決議 決定』（北京：中國方正出版社、2008年）。

Benshu bianxiezu, ed., *Shiyi jie sanzongquanhui yilai lici dangdahui, Zhongyang quanhui baogao gongbao jueyi jue ding* [Political Reports, Communiqués, Resolutions and Decisions of Party Congresses and Central Committee Plenary Sessions since the Third Plenary Session of the Eleventh CPC Central Committee], Beijing, Zhongguo fangzheng chubanshe, 2008.

李國喜「第8講 發展黨員的重點工作：嚴格調控黨員隊伍規模」『全國黨員幹部現代遠程教育』、<http://xuexi.12371.cn/2015/10/10/VIDE1444465807911463.shtml>。

Li, Guoxi, “Di 8 jiang, fazhan dangyuan de zhongdian gongzuo: yange tiaokong dangyuan duiwu guimo” [Session 8: Focus of Recruiting Party Members: Strict Control of the Size of the Party Members], *Quanguo dangyuan ganbu xiandai yuancheng jiaoyu* [Modern Distance Education for Party Members and Cadres in China].

李建「《事業單位崗位設置管理施行辦法》關鍵詞解讀」『北京人才市場報』（北京）2006年11月22日、第4版。

Li, Jian, “Shiye danwei gangwei shezhi guanli shixing banfa’ guanjian ci jiedu”

[Commentary of ‘Regulation on Management of Assigning Job Positions in Public Institutions’], *Beijing rencai shichang bao*, Beijing, November 22, 2006, p. 4.

周英峰「截至 2012 年底：中共黨員共有 8512.7 萬名 基層黨組織 420.1 萬個」『人民網』2013 年 7 月 1 日、<http://politics.people.com.cn/n/2013/0701/c1001-22024024.html>。

Zhou, Yingfeng, “Jiezhi 2012 nian di: Zhonggong dangyuan gongyou 8512.7 wan ming jiceng dangzuzhi 420.1 wan ge” [As of the end of 2012, 85127000 Party Members and 4201000 Grass-Roots Party Units of the Communist Party of China], *Renmin ribao*, July 1, 2013.

胡錦濤「堅定不移沿着中國特色社會主義道路前進 為全面建成小康社會而奮鬥：在中國共產黨第十八次全國代表大會上的報告（2012 年 11 月 8 日）」中共中央文獻研究室編『十八大以來重要文獻選編（上）』（北京：中共中央文獻出版社、2014 年）、頁 1～44。

Hu, Jintao, “Jianding buyi yan zhe Zhongguo tese shehui zhuyi daolu qianjin wei quanmian jiancheng xiaokang shehui er fendou: zai Zhongguo gongchandang di shiba ci quanguo daibiao dahui shang de baogao (2012 nian 11 yue 8 ri)” [Move Forward Firmly along the Road of Socialism with Chinese Characteristics and Strive to Build the Moderately Prosperous Society (November 8, 2012)], Zhonggong zhongyang wenxian yanjiushi, ed., *Shibada yilai zhongyao wenxian xuanbian (shang)* [Selections of Important Documents since the 18th National Congress of the CPC (I)], Beijing: Zhonggong Zhongyang chubanshe, 2014, pp. 1-44.

胡小君「中國共產黨黨員規模問題：“膨脹”與“虛化”」『江漢論壇』（武漢）2014 年第 1 期（2014 年 1 月）。

Hu, Xiaojun, “Zhongguo gongchandang dangyuan guimo wenti: ‘pengzhang’ yu ‘xuhua’” [Problems of the Size of Party Membership of the Communist Party of China: ‘Expansion’ and ‘Hollowization’], *Jianghan Luntan*, Wuhan, No. 1, January 2014.

習近平「決勝全面建成小康社會 奪取新時代中國特色社會主義偉大勝利（2017 年 10 月 18 日）」『中國共產黨新聞網』2017 年 10 月 27 日、<http://cpc.people.com.cn/19th/n1/2017/1027/c414395-29613458.html?from=groupmessage&isappinstall=0>。

Xi, Jinping, “Juesheng quanmian jiancheng xiaokang shehui duoqu xin shidai Zhongguo tese shehui zhuyi weida shengli (2017 nian 10 yue 18 ri)” [Fully Building the Moderately Prosperous Society and Win the Great Victory of Socialism with Chinese Characteristics in the New Era (October 18, 2017)], *Zhongguo gongchandang xinwen wang*, October 27, 2017.

習近平「在全國組織工作會議上的講話（2013 年 6 月 28 日）」中共中央文獻研究室編『十八大以來重要文獻選編（上）』（北京：中共中央文獻出版社、2014 年）、頁 336～355。

Xi, Jinping, “Zai quanguo zuzhi gongzuo huiyi shang de jianghua (2013 nian 6 yue 28 ri)”



[Speech at the National Conference on Organizational Work (June 28, 2013)], Zhonggong zhongyang wenxian yanjiu shi, ed., *Shibada yilai zhongyao wenxian xuanbian (shang)* [Selections of Important Documents since the 18th National Congress of the CPC (I)], Beijing: Zhonggong Zhongyang chubanshe, 2014, pp. 336-355.

許曉楠「全市黨員50.63萬名 基層黨組織2.68萬個」『大連新聞網』2019年7月1日、[http://www.dlxww.com/news/content/2019-07/01/content\\_2306875.htm](http://www.dlxww.com/news/content/2019-07/01/content_2306875.htm)。

Xu, Xiaonan, “Quan shi dangyuan 50.63 wan ming jiceng dang zuzhi 2.68 wan ge” [506300 Party Members and 26800 Grass-Roots Party Units in Dalian City], *Dalian xinwen wang*, July 1, 2019.

國家統計局編『中國統計年鑑2020』（北京：中國統計出版社）、2020年。

Guojia tongjiju, ed., *Zhongguo tongji nianjian 2020 [China Statistical Yearbook 2020]*, Beijing, Zhongguo tongji chubanshe, 2020.

劉琪「深刻理解準確把握發展黨員和黨員管理工作的總要求：學習《關於加強新形勢下軍隊發展黨員和黨員管理工作的意見》」『軍隊政工理論研究』（上海）第14卷第6期（2013年12月）、頁33~34、頁47。

Liu, Qi, “Shenke lijie zhunque bawo fazhan dangyuan he dangyuan guanli gongzuo de zong yaoqiu: xuexi ‘guanyu jiaqiang xin xingshi xia jundui fazhan dangyuan he dangyuan guanli gongzuo de yijian’” [Deeply Understanding and Accurately Grasping the General Requirements for the Recruitment and Management of Party Members: Study ‘Note on Strengthening the Recruitment and Management of Party Members in the Military under the New Situation’], *Jundui zhengong lilun yanjiu*, Shanghai, Vol. 14, No. 6, December 2013, pp. 33-34, p. 47.

劉學申「從重數量到重質量：中國共產黨建黨規模理念的調適」『湖湘論壇』（長沙）2016年第2期（2016年4月）、頁31~37。

Liu, Xueshen, “Cong zhong shuliang dao zhong zhiliang: Zhongguo gongchangdang jiangang guimo linian de tiaoshi” [From the Quantity to the Quality: The Adaptation of the Party Building Agenda for the Communist Party of China], *Huxiang luntan*, Changsha, No. 2, April 2016, pp. 31-37.

黨建平「嚴密黨的組織體系 更好發揮黨的組織優勢」『人民日報』（北京）2021年7月1日、第7版。

Dang, Jianping, “Yanmi dang de zuzhi tixi geng hao fahui dang de zuzhi youshi” [Strictly Control on Party’s Organizational System, Better Demonstrating Its Strong Points], *Renmin ribao*, Beijing, July 1, 2021, p. 7.